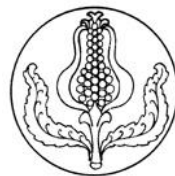


ひかり

2025年4月号

第732号



Easter

日本聖公会 三光教会

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「人の子は、必ず罪人の手に渡され、十字架につけられ、三日目に復活する、と言われたではないか。」そこで、女たちはイエスの言葉を思い出した。(ルカによる福音書 24:7~8)

あなたのドラマは悲劇？
それとも喜劇？

司祭シモン・ペテロ 上田憲明

イエスさまの復活を祝うイースターの日の説教を考えていて、ふと思ったことは、イエスが十字架につけられ殺され、神様からも人々からも見捨てられるストーリーは悲劇的なのだが、復活の物語は、ひよっとするとドタバタ喜劇のようなものではないかということだった。そう思ってみると、キリストの復活を報告している福音書の記事がどれもそういう風に見える。これは、弟子たちが、自分を見失っている自分を思い出し、もう一度笑ったことを記録しているのかもしれないと思えた。私自身は、大阪で生まれ育ったせい、子供の時から、吉本新喜劇や松竹新喜劇をテレビなどで見て育った。今回、喜劇のことを考えていたせいで、映画も含め喜劇のストーリーを幾つも思い出していた。

改めて考えてみると、喜劇のストーリーは、多くの場合、不幸な出来事が起こることが多い。破産、一家離散で親子はバラバラ、幼なじみとはどうしても親しく出来ない。恋人どうしは、会えなくなり、お互いに連絡もままならなくなる。突然、慣れない土地で放浪者のように暮らさなければならぬ。強盗に襲われる。犯罪に巻き込まれる。ちよっと思い出しただけでも、喜劇の間、どちらかというとといういわゆる不幸なことが次から次へと起こるようなストーリーが多い。それなのに、喜劇なのである。それは、ハッピーエンドが待っているからでもあるが、優れた喜劇ほど、そのハッピーエンドは、「それにもかかわらず、幸せを見つかる」という話であることが多い。ちよっと幸せの青い鳥は、すぐ隣にいたのに、主人公の兄妹は冒険の旅に出、いろいろ大変な目に会う中で、本当の幸せとは何かを、むしろ学ぶ。そして見る目が養われて家に帰ってきて、幸せはすぐそばに、始めからずっとあったことを発見するのである。それを考えると悲劇か喜劇はいつも紙一重なのではないだろうか。

悲劇は、不幸な状況の中で、神を、あるいは真理を見失うことであり、喜劇は、同じように不幸な状況の中で、むしろ神を、あるいは真理を発見することなのではないだろうか。

「どうして、私にはこんな不幸なことが起こるのでしょうか？」と聞かれることが多い。正解の答えは知らないが、その訴えに耳を傾け、うまくお話を深く聞くことが出来た時は、同じ人が、「でも何か意味があるのかも知れませんか」と言い始めることも多い。更に自分を笑えるようになるユーモア感覚は、すごく大事なかもしれない。

イエスさまが捕まえられ、裁判を受け、嘲笑の中で、引き回しにされ、十字架に架けられて殺される出来事の中で、弟子たちは自分たちの不甲斐なさ、情けない姿を晒してしまっている。そのように弟子たちの情けない姿が福音書に記されているのは、弟子たちが、復活のイエスさまに出会って、赦され、神さまの深い愛の中で、もう一度自分の情けない姿を思い出して笑えるようになった事を表しているのではないだろうか。

4月・5月の予定

◆4月	20日(日)	復活日
	21日(月)	復活後月曜日
	22日(火)	主教会博士アンセルム
	23日(水)	復活後火曜日
	24日(木)	復活後水曜日
	25日(金)	殉教者ジョージ
	26日(土)	復活後木曜日
	27日(日)	復活後金曜日
	28日(月)	福音記者聖マルコ日
	29日(火)	復活後土曜日
◆5月	1日(木)	復活後土曜日
	2日(金)	復活後日曜日
	3日(土)	復活後月曜日
	4日(日)	復活後火曜日
	5日(月)	復活後水曜日
	6日(火)	復活後木曜日
	7日(水)	復活後金曜日
	8日(木)	復活後土曜日
	9日(金)	復活後日曜日
	10日(土)	復活後月曜日
	11日(日)	復活後火曜日
	12日(月)	復活後水曜日
	13日(火)	復活後木曜日
	14日(水)	復活後金曜日
	15日(木)	復活後土曜日
	16日(金)	復活後日曜日
	17日(土)	復活後月曜日
	18日(日)	復活後火曜日
	19日(月)	復活後水曜日
	20日(火)	復活後木曜日
	21日(水)	復活後金曜日
	22日(木)	復活後土曜日
	23日(金)	復活後日曜日
	24日(土)	復活後月曜日
	25日(日)	復活後火曜日
	26日(月)	復活後水曜日
	27日(火)	復活後木曜日
	28日(水)	復活後金曜日
	29日(木)	復活後土曜日
	30日(金)	復活後日曜日
	31日(土)	復活後月曜日

ありがとう、
「アーレンオルガン」

2025年に三光教会長年の願いで
あったパイプオルガンがよいよ
設置されることになりました。

これまで1999年から実に四半世
紀に亘って礼拝を支えてくれたの
が米国アーレン社の電子オルガン
でした。この楽器は、故今井潔道
氏がご逝去の少し前、「三光教会
には近い将来、是非ともパイプオ
ルガンを入れて欲しい。そのとき
に備えてオルガニストにはこうい
う楽器の扱いを十分学んでしっか
り準備してほしい。」とのお考え
のもとに貸与してくださったもの
で、ご自身がたいへん好んでいら
したオルガンでした。その後ご遺
族から、これを貸与ではなく寄贈
したいとお申し出を頂き、お受
けすることになりました。以来、
私たちオルガニストギルドは折々
勉強会を持ちながら、礼拝のさま
ざまな場面にふさわしい音作りを
目ざしてストップの組み合わせを
工夫し、ペダル鍵盤の習得や2
段鍵盤の使い分けなど沢山のこと
を学んでまいりました。このオル

ガンのお陰で礼拝をずいぶん豊か
にすることができたように思いま
す。本当にありがたく、今井潔道
氏とご家族、そしてアーレンオル
ガンに心から感謝したいと思いま
す。

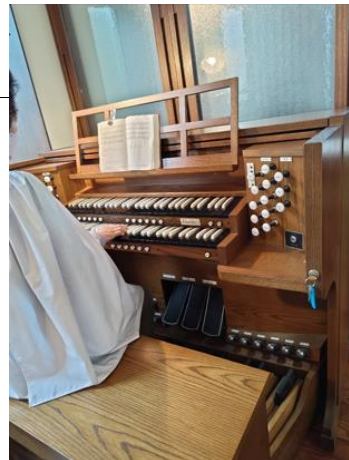
今回のパイプオルガンの設置
にあたり、アーレンオルガンを使
って頂けるところがないか探して
いたところ、最終的に東京聖マリ
ア教会で礼拝に用いてくださるこ
とになり、2月23日の堅信受領
者総会の唱詠をもって、三光教会
におけるアーレンオルガンの役目
は終了し、聖マリア教会へ無事に
移設されました。先方では床の補
強をしてアーレンを迎え入れてく
ださり、この楽器に新たな活躍の
場が与えられたことに私たちは心
から安堵しています。

私たちはこれまでに得た学びを基
に、新たに設置されるパイプオルガン
を最大限に生かすことができるよう
工夫と努力を重ねていきたいと思
います。

アーレンオルガン、長い間本当にお
世話になりました。心からありがと
う！

オルガニストギルド一同

黒川文子 記



教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者が案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:30 聖餐式
午前 10:00 ステパノ会
(日曜学校) 礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

毎朝 6:30 から
月、水、金は朝の礼拝、
火、木、土は聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2025年4月号(第732号)

発行者: 牧師 上田 憲明 編集・印刷: 三光教会広報委員会